

(様式 1 - 3)

矢吹町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	2	事業名	矢吹町災害公営住宅建設推進事業		事業番号	◆D-4-1-1
交付団体		矢吹町	事業実施主体 (直接/間接)		直接	
総交付対象事業費		5,000 (千円)	全体事業費		5,000 (千円)	
事業概要						
東日本大震災により、住宅が被災し、自力再建が困難な世帯に向け、災害公営住宅を建設するために、町の中心市街地での建設予定地の選定や住戸タイプ等のマスタープランの検討を踏まえ、円滑な事業実施を図る。 仮設住宅 85 戸 (内入居 79 戸) 県借上住宅 40 世帯 ◎基幹事業⇒災害公営住宅整備事業 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
≪平成 25 年度≫ 立地場所の検討及び住戸タイプ等の検討に関するマスタープラン作成業務委託						
東日本大震災の被害との関係						
今回の東日本大震災では、震度 6 弱と今までに経験のない強い地震にみまわれ、全壊 563 件 (内非住宅 269 件) 大規模半壊 303 件 (内非住宅 61 件) 半壊 1717 件 (内非住宅 372 件) 一部損壊 2,258 件 (内非住宅 431 件) 合計 4,841 件 (内非住宅 1,133 件) と甚大な被害を受けました。 現在も、応急仮設住宅や県借上げ住宅へ避難されている現状を踏まえ、住民の居住を確保することは、町の復興にあたり重要な課題であります。この課題を早期に解消するため、自力再建が困難な生活困窮者等への支援策として、災害公営住宅を建設し、被災者の居住の安定確保を図ります。 また、震災により町内全域で多くの家屋や商店等の建物が被害を受け、特に中心市街地においては避難路や輸送路として利用された都市計画道路が倒壊した建物等により通行に支障をきたす等甚大な被害があったこともあり、震災以前以上よりも活力ある矢吹町の構築のため、中心市街地を災害公営住宅の立地候補として検討し、復興を目指す取組みとします。						

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-4-1（予定）
事業名	矢吹町災害公営住宅整備事業
交付団体	矢吹町
基幹事業との関連性	
災害公営住宅建設推進事業を予定しており、建設に向けたマスタープランを作成し、建設事業を効果的に進めるため、促進事業として調査検討業務を実施する。	